

1 各委員からの議題提案

	No.	タイトル	内容	提案委員	対応		
					懇談会で議論	委員からの説明	県からの説明
中間評価	1	施策の中間評価ならびに大綱20年間の取り組みの評価方法について	・現在の案についての施策調査専門委員会メンバー以外の皆様のご印象など。県民目線で捉えたときの印象など。	太田			
経済評価関連	2	経済評価方法の具体的な適応例について	これまで仮想評価法などの「表明選考法」が実施されてきましたが、デメリットもあるので、今後は代替法やトラベルコスト法といった「顕示選好法」と併用して実施することが検討されています。仮想評価法や代替法についてはざっくりとわかったつもりになっていますが、まだ詳細には理解できていないと感じています。併用について議論をしていくにあたり、現在の施策の中で、どの事業ではこちらの方法が適するという事例を比較という形で教えてもらえると、具体化できるような気がします。併用化の議論のための知識ベースとしたいと思いました。	岡田			
	3	第4期計画期間中に実施予定の「経済評価の実施」について	・過去の実施結果 ・これまでの検討の紹介 ・これからの実施についての課題についての意見交換	鈴木			
	4	自然環境をバイオーム等考慮した望ましい環境に整えたときの経済効果	・世界的な例と、それを神奈川に当てはめた場合の例 ・税金を投与した場合と、民間協力型、あるいは民間主導型にした場合のメリットとデメリット、世界的な事例とそれを神奈川に当てはめた場合の想定など ・・・・手入れのある環境とそうでない環境との比較評価につながるようなこと 公的資金と民間資金のうまい使い方についての検討	星野			
森林経済	5	森林の循環型経済について	森林の経済評価だけではなく、将来に向けて森林の循環型経済をどう考えているのか、専門家の意見を聞きたい。森林の経済を抜きにすることはできないと考えますが、そのことを議論する場が必要と思います。	倉橋			
森林環境譲与税と水源環境保全税	6	国の森林環境税の運用内容について	水源環境保全税と連携をすることで、森林の一層の自立へと期待したいので管轄が森林再生かと聞いているが具体的な使い方を聞きたい。	倉橋			
	7	「森林環境譲与税」と「水源環境保全税」	・最近の動向の解説 ・二重課税ではないとする考え方（県の見解） ・「国有林野管理経営法改正案」の説明と、県の自然環境行政への影響について（全国的には、大規模伐採、外資進出などを懸念する声もある。）	鈴木			
	8		国の森林税導入後の、より一層効果的な水源・森林対策の青写真を考える議論 *国税と県税の使い道のすみ分けなど	根岸			
	9	水源環境保全税と森林環境譲与税との両立及び使途の重複の可能性	・県では、両税の両立と効果的な組み合わせにより、森林の保全再生を図ると聞いておりますが、例えば人工林の整備、作業道の整備、土壌保全対策なども森林環境譲与税でできれば、その税を活用することにより、少しでも水源環境保全税による事業が軽減でき、結果として、県民負担が少なくなるという意見はないのでしょうか。	宮下			
他県との連携	10		前回会議において、小仏エリアにも鹿対策を展開することが挙げられていました。 <u>東京都との連携について（過去、現状、今後）県にお伺いしたい。</u> *山梨県とは連携がありますが、東京都とはどうか、という点で。	根岸			
木材利用	11	木材利用と切り出しの観点について	・ドイツの重機のような伐採機（伐倒、枝打ち、玉切りが瞬時にできるような）が入れる（ようにできる）山はあるか、予算を少なくして作業面の安全性向上と、手間時間の削減につながるような方法はないか。 ・他に、木材利用促進につながるいくつかの方法はないか。 ・環境負荷の少ないかたちでの木材利用の促進はできないか。合板は、作る・使う・廃棄の各過程において、有害物質を出してしまうため。	星野			

	No.	タイトル	内容	提案委員	対応		
					懇談会で議論	委員からの説明	県からの説明
生物多様性	12	将来にわたる良質な水の安定的確保の視点における生物多様性機能の寄与度	<ul style="list-style-type: none"> 生態系が健全で、生物多様性の機能が低いと水循環機能の保全再生が出来、その結果、良質で安定的な水の確保に寄与すると言われていますが、その寄与度はどのように考えればよいのでしょうか。 人工林で生物多様性の評価が進められているが、具体的なアウトカムを示す調査結果は見られるのでしょうか。 山域別の生物多様性は人工林と違い複雑と思われそうですが、評価手法は人工林と類似手法で行われるのでしょうか。 	宮下			
不在策山主	13		所有者不明（登記簿で追うことができない）山林について、県としての対策をお伺いする。とともに、専門委員の視点から将来的に必要なと思われる対策（制度や条例の整備など）、公募委員の視点から柔軟なアイデアを出すような議論を希望	根岸			
に施つ策い大て綱	14	次期の大纲を検討する筋道について	<ul style="list-style-type: none"> （意見をまとめるのではなく、委員の夢を語っていただくような内容を考えたい） 大きい枠組みの提示に向けて <ul style="list-style-type: none"> 県民の幸福の増加、既得権益化の排除、効率的な施策の実行（税負担の軽減） 人口減少と高齢化を踏まえた提示（お金の負担者、作業の負担者） 次世代教育は、環境施策に含まれるか？ 横浜市水道水源林の教育的な効果の活かし方 など 	鈴木			
事例研究	15	他県の事例、水源環境づくりにつながる、事例研究	<ul style="list-style-type: none"> 例えば高知では林業家さんが互いに低コストで木材を切り出しあうような工夫をしていると耳にしたことがあり、（山を見ると、手入れがなされている斜面を多く見かける）洪水の起きるリスクはどうか、水資源・治水は十分かなど。 	星野			
周知・広報	16	周知・広報について	<ul style="list-style-type: none"> 政府広報オンラインHPによると、昭和52年から、毎年8月1日を「水の日」、その日からの1週間を「水の週間」としているとのこと。そこには、水循環の維持・回復について、社会的な課題についてもふられている。また、一人一人が取り組む課題として、水の汚染源を流さないこと、川や水源の保全があげられているが、それらに関し、広く知られていない印象があり、夏のレジャーシーズンを利用するなど、皆さんに知っていただく機会づくりにつながる検討。 社会科・理科の教育といかにつなげるかも考えたい。 	星野			
シカ対策その他	17	鹿の捕獲後の利用について		上宮田			
	18	マイクロプラスチックの問題への取組について	現在コンビニエンスストアと自治体との提携で取り組んでいる県もあるようです。神奈川県の取組についての実態や市町村（自治体）の取組などを知りたい。	上宮田			

2 各委員からのその他意見

No.	内容	提案委員
19	上記議題には挙げませんでした。国税の森林環境税導入後の県税のあり方は導入後のどこかで議論をした方がいいかと思いました。	太田
20	下層植生の状況は森林整備をしているところしていないところで差異はあるのか。また丹沢山系全体ではどのような状況なのか知りたい。	久保田
21	水源環境税終了予定以降の計画はあるのか。	久保田
22	上記に限らず、どのような各論が必要で、それをいかに整理するか、これまで上げられていた課題（話題）のなかで、議論すべきものは何かを整理し、議論されることが望ましいと思います。過去のことや現況を整理したうえで、未来はどのようにするのが望ましいかという観点も盛り込んで、議論内容を決めていきたいと考えます。	星野
23	通知文の例に挙げられている内容（※）がリストに上がっていただければ良いと思います。 ※「総合的な評価（中間評価）報告書」（昨年度検討した指標も含む）、「次期計画への意見書」、「経済評価の実施」、「森林環境譲与税」と「水源環境保全税」	吉村